

第4号関係（第10条関係）

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	平成23年度 第1回武蔵村山市学校給食運営委員会
開 催 日 時	平成23年7月20日（水）午後3時30分
開 催 場 所	武蔵村山市役所 3階301会議室
出席者及び 欠 席 者	出席者 武富委員長、麻生副委員、青木委員、加納委員、白戸委員、 波多野委員、星谷委員、矢田委員、荒幡委員、藤田委員、 欠席者 池谷委員、小林委員、長崎委員、古田委員、田尻委員 事務局 持田教育長、吉川教育部長、山田学校給食課長、内野学校給食 センター所長、内堀主任、塩塚栄養教諭
議 題	1 平成22年度武蔵村山市学校給食費会計歳入歳出決算について 2 その他
結 論	議題1：原案のとおりの内容をもって決定する。 議題2：質疑あり
審 議 内 容	<p>（事務局）本日の議題ですが、先にご案内したとおり、議題1：平成22年度武蔵村山市学校給食費会計歳入歳出決算についてである、よろしくご審議いただきたい。</p> <p>（委員長）本日は、平成22年度武蔵村山市学校給食費会計歳入歳出決算についてご審議いただきたい。 開会の前に教育長から挨拶をいただく。</p> <p>（教育長）平成22年度の学校給食については、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 中学校給食を平成22年4月から、株式会社「ハーベスト」に民設民営方式で業務委託した。</li> <li>② 平成21年4月に施行され「学校給食法」の規定に基づく「学校給食の実施基準」の改正について、武蔵村山市では、平成22年の4月から対応を図った。</li> <li>③ 未納対策を改善するために「学校給食費収納管理システム」を導入した。</li> <li>④ 東日本大震災の発生後の学校給食の対応については、小学校においては3月15日からの6日間、中学校では3日間、簡易給食を実施した。</li> </ol> <p>このように、平成22年度は、学校給食にとって大きな変動の年でもあった。</p> <p>このような中であっても、安全・安心で美味しい給食の提供に努めたところである。</p> <p>次に、収入の根幹をなす給食費の収納率であるが、平成22年</p>

度は、前年度と比較し減となっていることから、平成23年度は収納率の向上に努めて参りたいと思っている。

よろしくご審議いただきたい。

(委員長) 続いて、新たに委員に就任した次の3人に委嘱書を交付する。

はたのかつり  
波多野克典 様

ほしやただのぶ  
星谷忠信 様

いけや こうじ  
池谷 光二 様

なお、運営委員会規則第4条の規定により、任期は前任者の残任期間となるので、平成24年5月31日までである。

(委員長) 本日の出席委員は、委員の半数以上に当たる10名であり、委員会規則第6条第2項の規定により、会議は有効に成立する。それでは、ただ今から会議を開会する。まず、議題1：平成22年度武蔵村山市学校給食費会計歳入歳出決算について、事務局から説明を求める。

(事務局) 平成22年度武蔵村山市学校給食費会計歳入歳出決算・平成22年度武蔵村山市学校給食費会計事務報告について説明

—— 説明省略 ——

なお、本給食費会計の歳入歳出決算審査については、平成23年6月23日に市監査委員による審査をいただき、その結果については、平成23年7月7日付で報告をいただいている。

(委員長) ただいま、「決算書」と「事務報告書」等について説明があった。これより質疑に入る。

質 疑

(委員) 給食費に例年より多い繰越金があったと説明があったが、お金が余ったということは、(政府備蓄米の無償交付を受けたため) お米代が、かからなかったから、お金が余ってきたという考えなのか。

予定の金額があって、予定の金額にあわせて調理予算を食材費として取っているわけなのではないのか。

208円なら208円にむけて、それでその食材費とお米代とか含めた208円が実際には、お米代がかからなかったから、余ったというふうに考えてよいか。

(事務局) そのとおり。

(委員) 3月11日の震災の後、おにぎり2個ではあったが、簡易給食を

続けていただいたことに、学校として、まず感謝している。それがなければ5時間目までの授業ができないわけであり、実質的に授業時数を確保できなかった。感謝している。また、たとえ、おにぎり2個にしても6000人、7000人分を用意するのであるから、ご苦労があったと思う。子供たちも、おにぎりになったことで、文句を言う子がいなかった。そういう点では、食育という意味でもよかったと思っている。

ところで、質問であるが、おにぎり2個になったことで、普通の給食に比べてある程度経費は下がってやりやすくなったということはあったか。

(事務局) 概算で、約1,596,740円の減額となっている。

(委員長) それは本来の予定の額よりも、おにぎり2個にすることによって下がった経費の額ということではないのか。

(委員) 了。ではその部分も繰越金にプラスされているわけか。

(事務局) そのとおり。

(委員長) 簡易給食のおにぎり分の差額も、当然、この繰越金の中に入っているということではないか。

(委員) 簡易給食しかできなかったわけであるから、年度末に、高価な食材を使い、給食費を調整するということもできなかったと理解してよいのか。

(事務局) そのように御理解いただきたい。

(委員) 了。

(委員) これからも配給米が続く(政府備蓄米の無償交付を引き続き受ける)のであれば、予算の立て直しが必要だと思うが、そのへんは来年度の予定に入っているのか、いないのか。

(委員長) 今年度決算の繰越金の額をふまえた今後の取り組みに関する御質疑である。事務局の説明を求めます。

(事務局) 政府備蓄米の関係であるが、平成23年度も額は下がるが、予定はしている。したがって、平成23年度は、その減額分全額を、食材購入費に振り向ける予定である。

(委員) 食材資質をあげるということではないのか。

(事務局) はい

(委員) 今年から新しく収納のシステムが導入されたということであるが、現在、どういう状況か。

(事務局) 稼働は平成23年2月から。基礎的なデータの入力を経て稼働している。これまでは、保護者を特定し連絡するのに時間がかかってしまっていたが、今は迅速かつ正確に処理ができるようになった。

また、各学校に、未納の情報等を即座に連絡できるようになったことなどから、今後は、なるべく多くの情報を提供し、学校との情報共有に努めたい。いずれにしても、事務局としても、今後に期待している。

(委員長) ほかに何かあるか。

ないようなので、これで質疑を集結し、議題の平成22年度武蔵村山学校給食会計歳入歳出決算については、原案のとおり認定したい。

(委員) 異議なし。

(委員長) 次に、議題2：その他について、事務局から何かあるか。

(事務局) なし。

(委員長) 委員から何かあるか。

(委員) 1点、質問したい。麺類は月に1回しか出ないが、理由があればお聞かせ願いたい。

(事務局) 文科省の摂取基準の改定があり、今回炭水化物等でご飯を多く食べさせたいということで、グラム数が上がったが、パンと麺については下がった。その関係で月の回数が1回か2回しか出せないような状況。なるべくご期待に応えられるように努力する。

(委員長) 何点か私の方からもお聞きしたい。給食費の収納率が下がってきている。これは、各市各区の大きな課題となっているが、武蔵村山市の新たな取り組みなど、詳しく説明いただきたい。

(事務局) 給食システムが入った結果、まず、データ等の管理が非常に迅速にできている。さらに、現年度分の未納状況について、データを学校側に送付しているほか、未納のお知らせなどを、迅速に保護者の元へ届けている。

一方、過年度分は、臨戸徴収を定期的に、具体的には週2回、職員と臨時収納員で行っている。

(委員長) 最後にもう一点、原発事故の関係で、地場食材を含む給食の食材に関する武蔵村山市としての放射性物質に対する対策について説明いただきたい。

(事務局) それでは説明させていただく。

学校給食の食材については、市民の方から問合せも多い。教育委員会としては、7月に食材の放射能検査を2回実施している。1回に5検体ということで、2回で10検体検査した。いずれの食材も未検出であった。今後は、9月、1回の検査する予定。

検査結果については、市のホームページに掲載している。

同時に学校を通じて保護者の方々にも結果をご案内している。

	<p>一方、地場食材の利用状況であるが、平成22年度では、小松菜・ほうれん草・キャベツなどを中心に18品目の野菜を使用した。</p> <p>総重量で、75トン、金額ではおおよそ400万円程度となっている。</p> <p>(委員) 放射能検査なのか、放射線検査なのか、そのへんをはっきりとして下さい。</p> <p>牛乳もやっているのを紹介して下さい。</p> <p>(事務局) 牛乳については、放射線量の調査を行ったが、未検出都の結果である。</p> <p>(委員長) 議題2「その他」出ほかに何かあるか。ないようなので、以上をもちまして第1回武蔵村山市立学校給食運営委員会を閉会する。</p>
--	---